

国立大学法人千葉大学 令和6事業年度決算概要

01.財務諸表ダイジェスト

(単位：百万円)

貸借対照表

令和7年3月31日における本学の財政状態を示すもので、平成16年の法人化移行時に国から引き継いだものも含めて、すべての資産、負債及び純資産の状況を表します。

資産 262,372	負債 88,815
	純資産 173,557
現金及び預金 (内数) 28,176	未処理損失 (内数) △1,599

損益計算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日の本学の事業規模を明らかにするもので、本学の教育・研究等の業務運営に要した費用、運営費交付金・自己収入等による収益や利益の発生状況を表します。

経常費用 + 臨時損失 88,247	経常収益 + 臨時利益 + 前中期目標期間 繰越積立金取崩 86,647
	当期総損失 1,599

損失の処理に関する書類

損益計算書により算定された当期末処理損失の処理内容を表します。

前中期目標期間 繰越積立金取崩 1,599	未処理損失 1,599
-----------------------------	----------------

キャッシュ・フロー計算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日における本学の資金の流れを、一定の活動別に区分して表します。

支出 91,798	収入 95,664
資金増加額 3,866	

02.貸借対照表の概要

1.貸借対照表

貸借対照表は大学の財政状況を明らかにするものです。
大学が所有する資産（教育・研究・診療活動等に必要な資源）と、その調達方法である負債（他人資本）及び純資産（自己資本）が示されています。

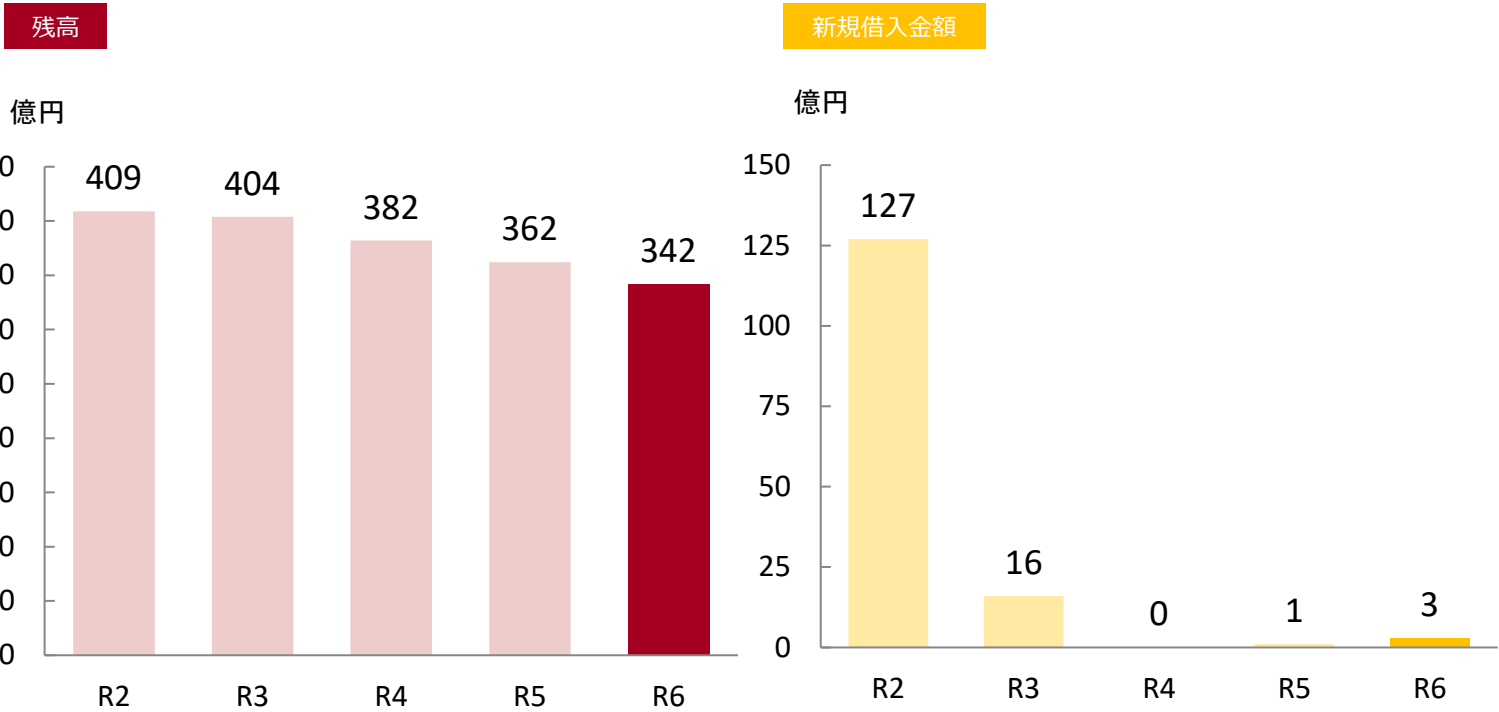
(単位：億円)

資産の部			負債の部		
固定資産					
土地	1,285	(1,285)	長期繰延補助金等	46	(31)
建物等	720	(707)	借入金 ※2	342	(363)
備品	125	(134)	長期未払金	144	(161)
図書	47	(48)	寄附金債務	89	(88)
建設仮勘定	5	(25)	未払金	146	(122)
投資有価証券	19	(16)	その他	116	(104)
その他	10	(12)	負債合計	888	(868)
流動資産			純資産の部		
現金及び預金 ※1	282	(242)	資本金	1,488	(1,488)
未収入金	102	(105)	資本剰余金	108	(89)
有価証券	19	(20)	利益剰余金 ※3	37	(177)
棚卸資産	6	(6)	当期末処分利益(当期末処理損失)	△15	(△ 21)
その他	2	(2)	純資産合計	1,736	(1,733)
資産合計	2,624	(2,601)	負債・純資産合計	2,624	(2,601)

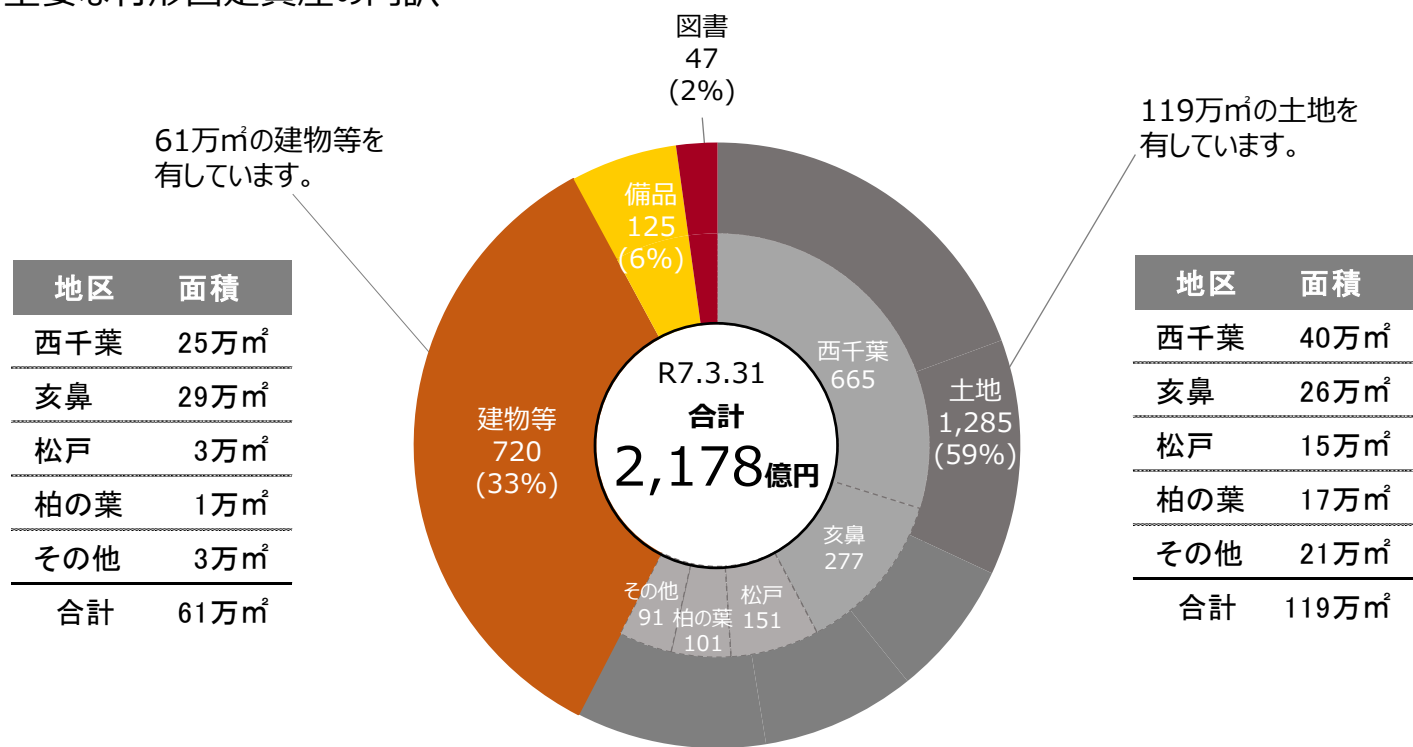
・単位未満四捨五入のため、計が一致しない場合がある。() は令和5事業年度

- 大口定期預金の増加により、現金及び預金が増加しています。(※1)
- 附属病院再開発に伴う借入金の償還により、借入金が減少しています。(※2)
- 前中期目標期間繰越積立金の取崩や未処理損失の増加により、利益剰余金が減少しています。(※3)

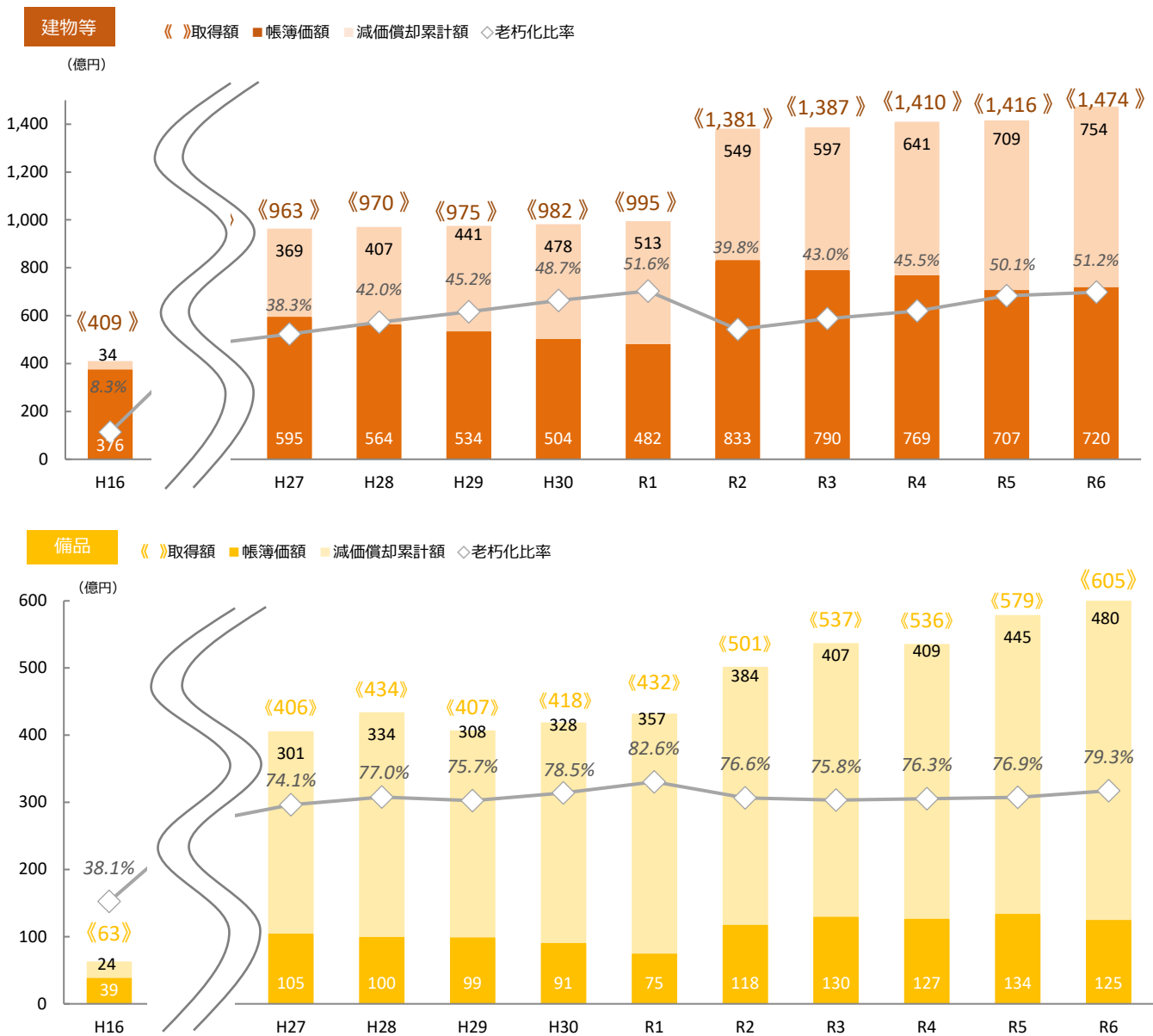
借入金の年度別推移



2. 主要な有形固定資産の内訳



施設等取得額・老朽化比率の年度別推移



03.損益計算書の概要

1.損益計算書

損益計算書は大学の運営状況を明らかにするものです。
事業活動を行うためにかかった費用（教育・研究経費、診療経費等）とそれに充当した収益（運営費交付金収益、学生納付金収益、附属病院収益等）を示しています。

(単位：億円)

経常費用		
教育経費	38	(37)
研究経費 ※3	51	(47)
診療経費 ※1	327	(326)
教育研究支援経費	14	(14)
受託研究費等	45	(42)
人件費	383	(372)
一般管理費	21	(24)
その他	2	(2)
経常費用合計	880	(864)
臨時損失	3	(15)
計	882	(879)

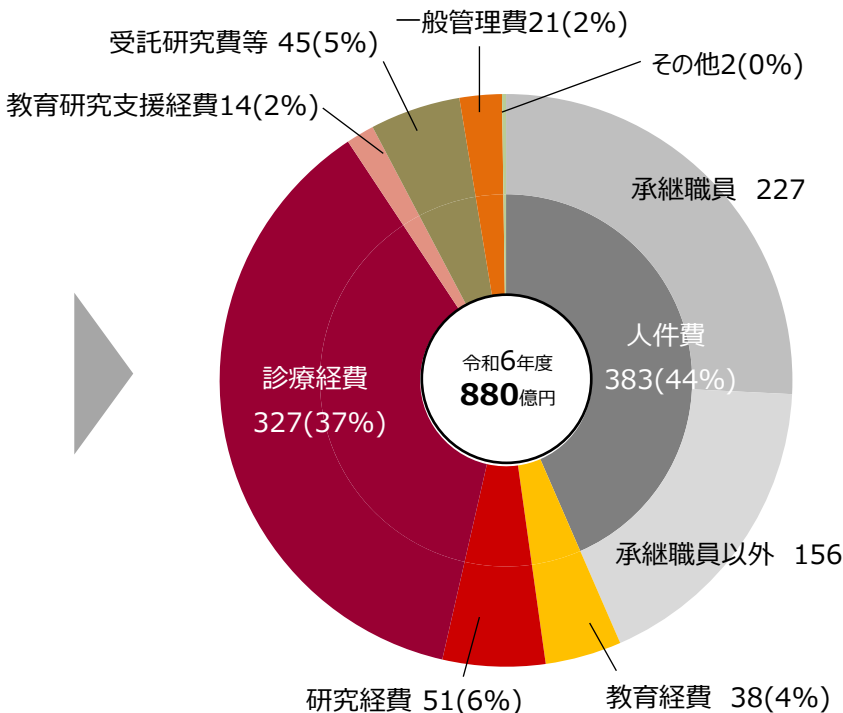
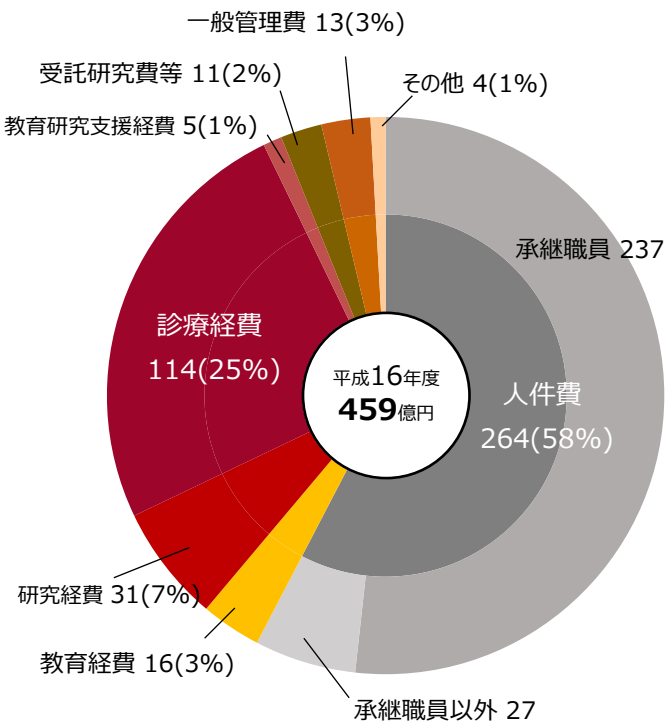
経常収益		
運営費交付金収益	184	(182)
学生納付金収益	99	(98)
附属病院収益 ※1	446	(431)
外部資金	86	(83)
機関補助金 ※2	41	(34)
その他	9	(11)
経常収益合計	866	(838)
臨時利益	0	(1)
目的積立金取崩等	0	(19)
計	866	(839)

当期総利益（損失） △15 (△ 21)

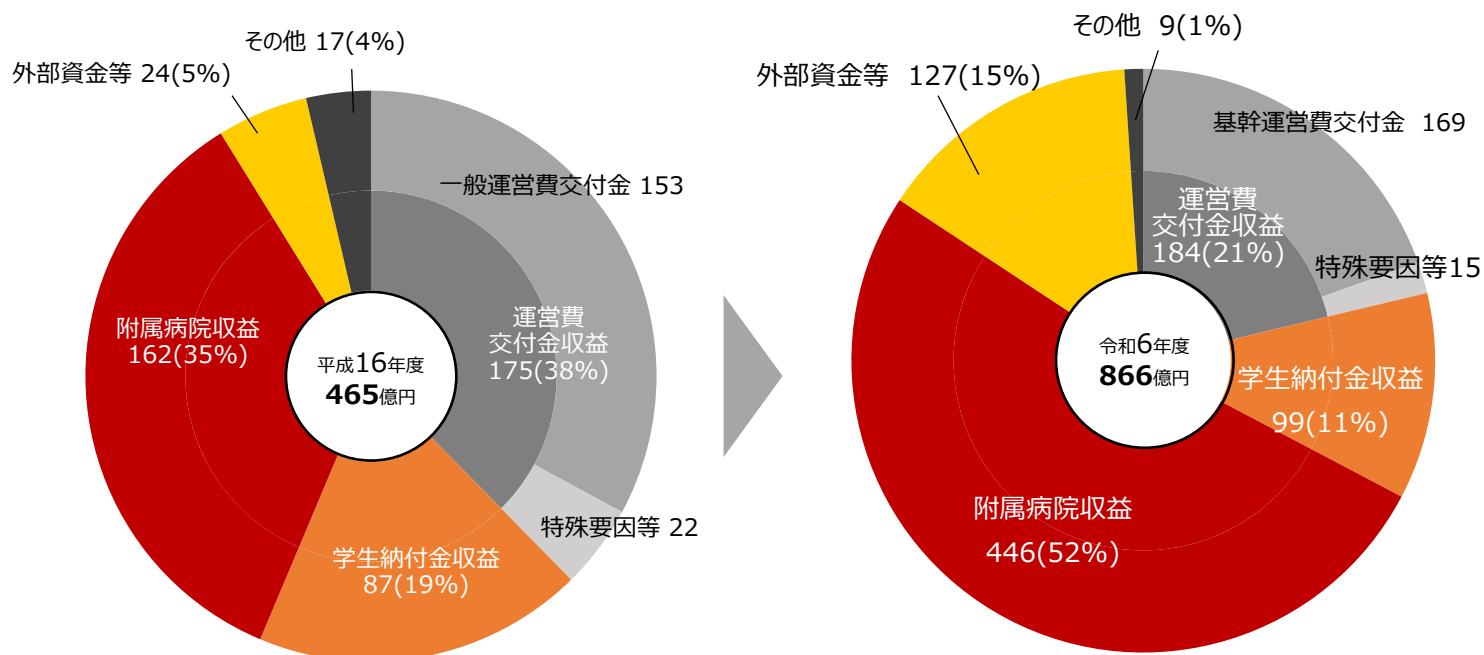
・単位未満四捨五入のため、計が一致しない場合がある。 () は令和5事業年度

- 効率的な病床稼働率の上昇により、附属病院収益が増加しています。
また、稼働率増加に伴う診療材料費等の影響により、診療経費が増加しています。(※ 1)
- 地域中核・特色のある研究大学強化促進事業等の受入の増加により、機関補助金が増加しています。(※ 2)
- 電気料や修繕費、外国旅費等の増加により、研究経費が増加しています。(※ 3)

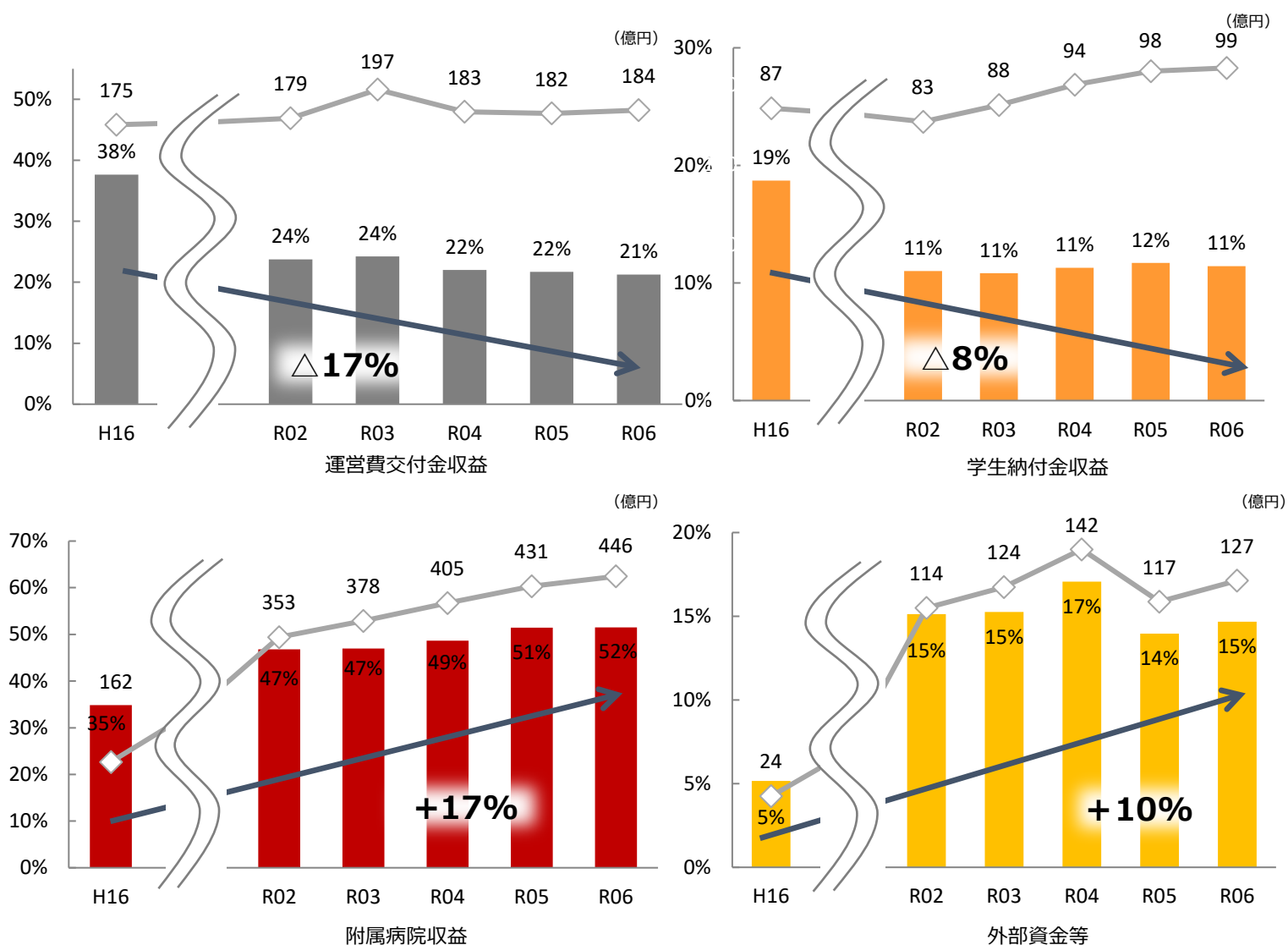
2.主要な経常費用（シェア）の推移



3. 主要な経常収益（シェア）の推移



平成16年度（国立大学法人化の初年度）と比べ、経常収益合計に占める運営費交付金収益のシェアが減少しています。その一方で、附属病院収益・外部資金等のシェアが増加しています。



04. セグメント別の状況

1.損益状況について（附属病院セグメントを除く）

（単位：億円）

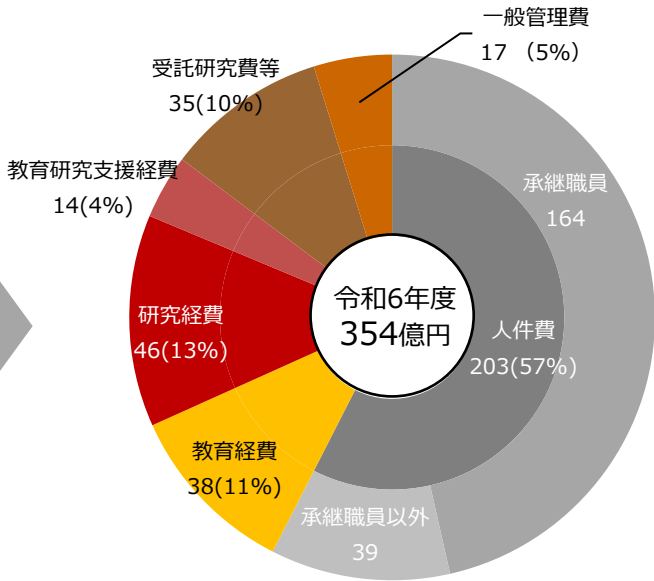
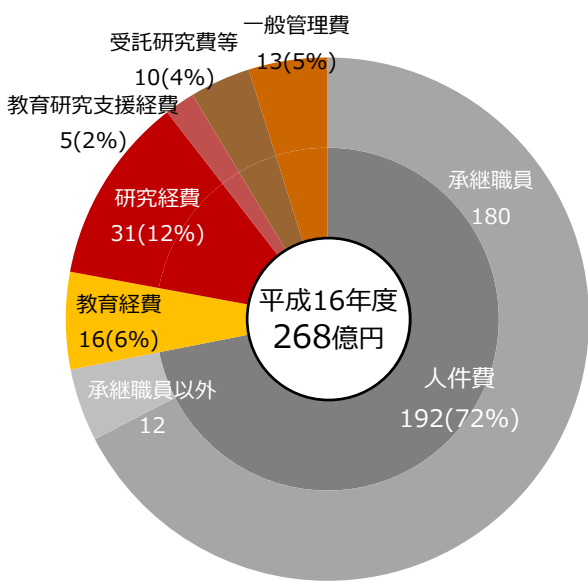
経常費用		
教育経費	38	(37)
研究経費	46	(43)
診療経費	0	(0)
教育研究支援経費	14	(14)
受託研究費等	35	(32)
人件費	203	(200)
一般管理費	17	(19)
その他	0	(1)
経常費用合計	354	(346)
臨時損失	2	(1)
計	356	(347)

経常収益		
運営費交付金収益	161	(158)
学生納付金収益	99	(98)
附属病院収益	0	(0)
外部資金	72	(69)
機関補助金	29	(22)
その他	6	(8)
経常収益合計	367	(355)
臨時利益	0	(0)
目的積立金取崩等	0	(0)
計	367	(355)

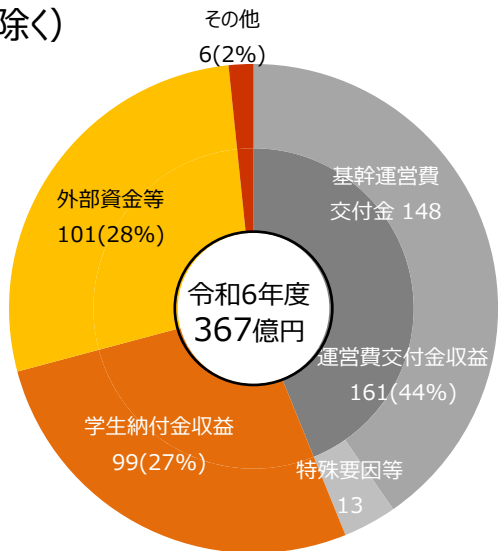
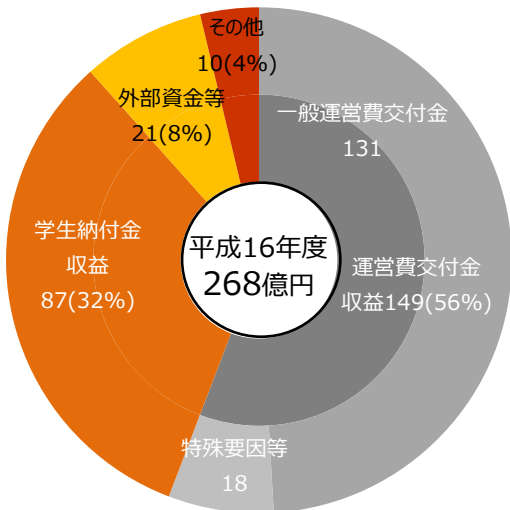
当期総利益（損失） 11 (9)

・単位未満四捨五入のため、計が一致しない場合がある。 （ ）は令和5事業年度

2.主要な経常費用（シェア）の推移（附属病院セグメントを除く）



3.主要な経常収益（シェア）の推移（附属病院セグメントを除く）



4.附属病院セグメントの損益状況について

(単位：億円)

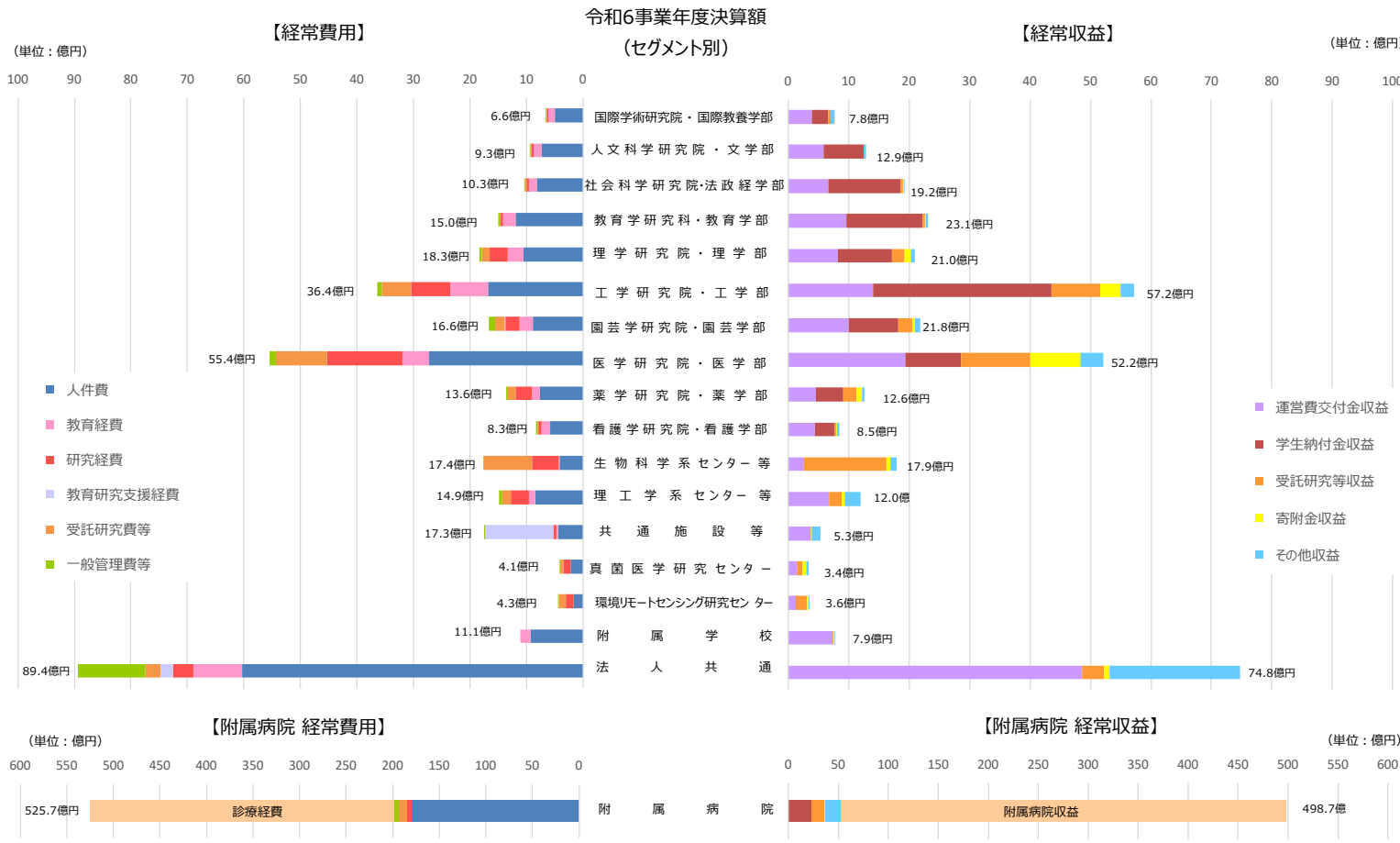
経常費用			経常収益		
教育経費	0.5	(0.4)	運営費交付金収益	23	(24)
研究経費	4	(4)	附属病院収益	446	(431)
診療経費	327	(326)	外部資金	14	(14)
受託研究費等	9	(9)	機関補助金	12	(12)
人件費	180	(172)	その他	3	(3)
一般管理費	4	(5)			
その他	1	(1)			
経常費用合計	526	(518)	経常収益合計	499	(483)
臨時損失	1	(15)	臨時利益	0	(1)
			目的積立金取崩等	0	(19)
計	527	(533)	計	499	(503)

当期総利益（損失） △ 27 (△ 30)

・単位未満四捨五入のため、計が一致しない場合がある。 () は令和5事業年度

附属病院においては、対価を伴う業務により収益が計上されるため、企業会計と同様の会計処理を行います。
附属病院セグメントにおいては、 効率的な病床稼働率の上昇により、附属病院収益が増加しました。
しかし、稼働率増加に伴う診療材料費等の影響により、当期総損失が約27億円となりました。

5.セグメント別の損益状況について

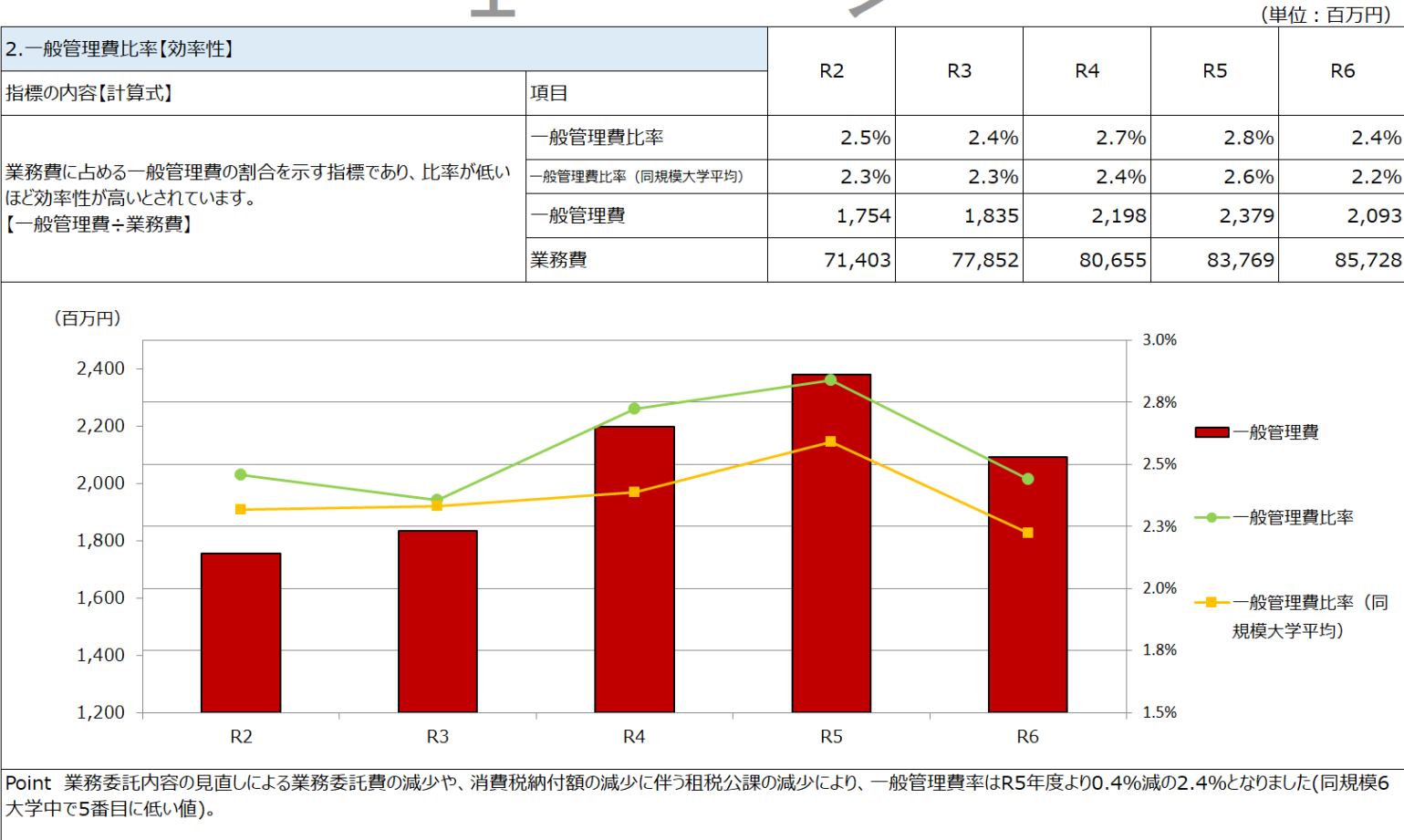
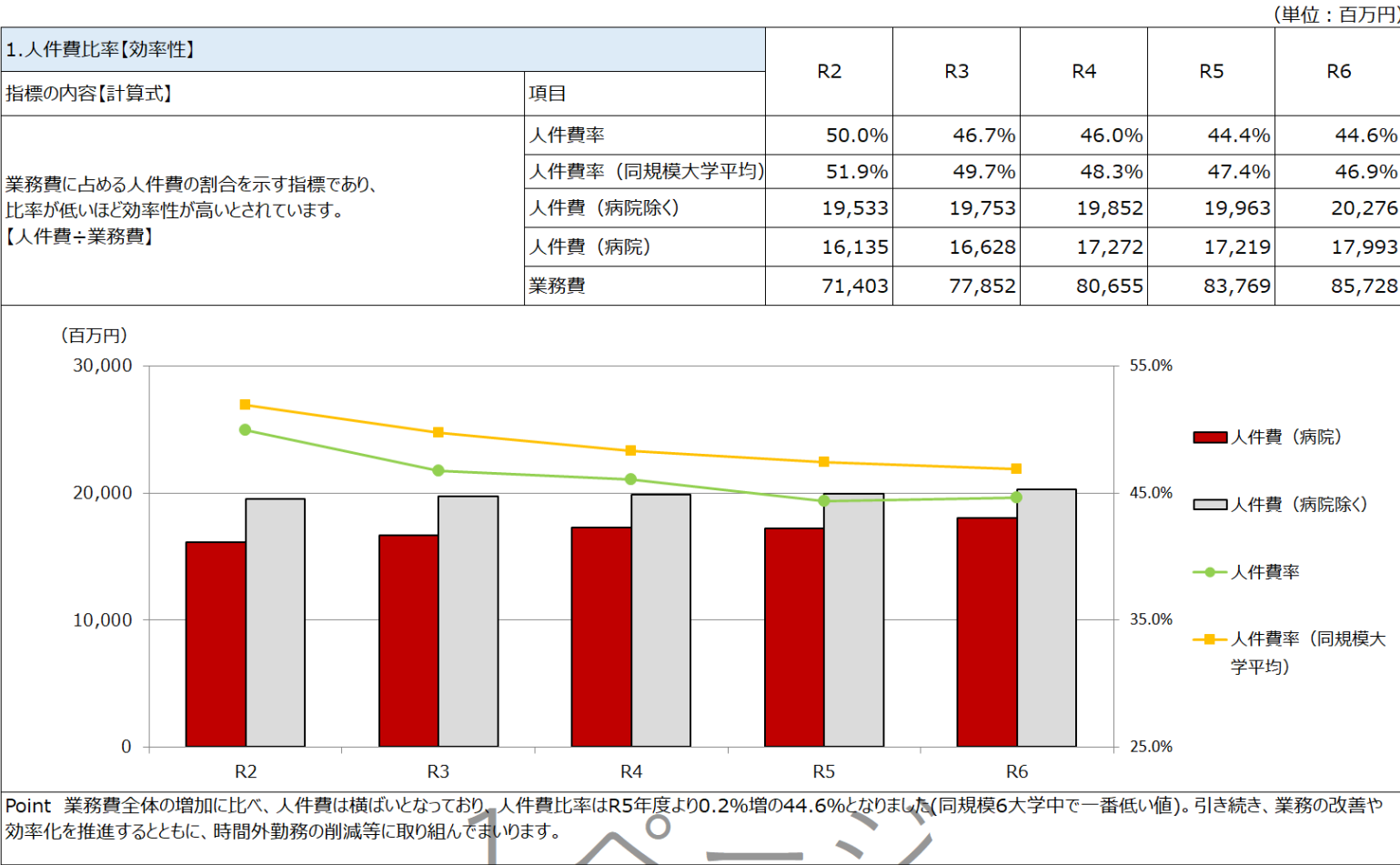


各セグメントに属する主な部局等は以下のとおり
(理工学系センター等)：環境健康フィールド科学センター、フロンティア医工学センター、先進科学センター、デザイン・リサーチ・インスティテュート
(生物科学系センター等)：バイオメディカル研究センター、予防医学センター、子どものころ発達教育研究センター、災害治療学研究所
(共通施設等)：附属図書館、情報戦略機構

05. 財務指標

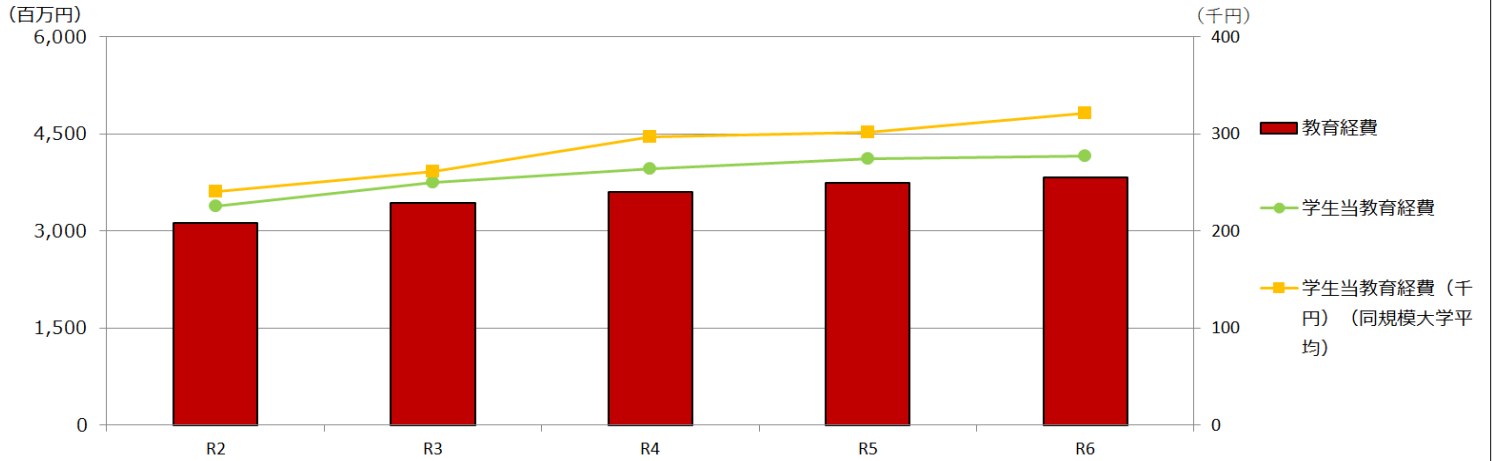
財務指標とは財政状態や運営状況を財務諸表の計数を用いて計算し数値化したものです。

本学では、今後の大学運営の改善や取組の参考とするために、過去の実績値との比較分析を行っています。



(単位：百万円)

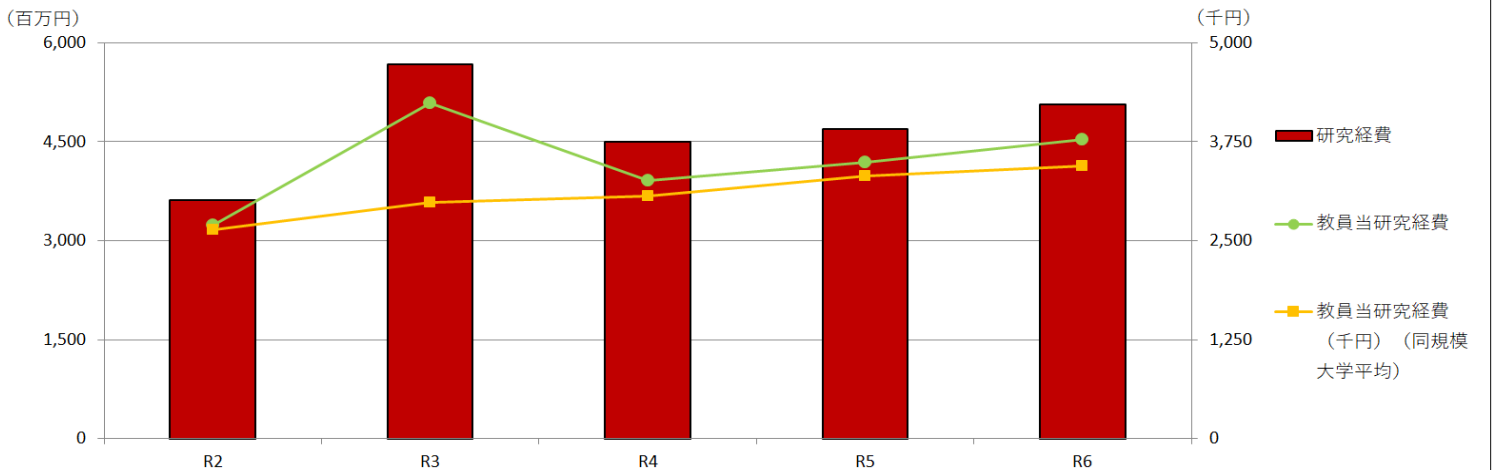
3. 学生当教育経費【活動性】		R2	R3	R4	R5	R6
指標の内容【計算式】	項目					
学生一人当たりの教育経費を示す指標であり、この数値が高いほど学生一人当たりにかけられた教育経費が大きいことを示します。 【教育経費÷学生数】	学生当教育経費（千円）	226	250	264	274	278
	学生当教育経費（千円）（同規模大学平均）	241	261	297	302	321
	教育経費	3,125	3,429	3,603	3,746	3,830
	学生数（人）	13,832	13,711	13,630	13,655	13,788



Point 学生当教育経費は、全方位イノベーション創発博士人材養成プロジェクト奨励金等による奨学金の増加や、看護・医薬系総合教育研究棟の空調機対応業務等による修繕費の増加等により、教育経費が増加したことから、R5年度より4千円増の278千円となりました(同規模6大学中で3番目に高い値)。今後もより一層の教育環境の整備・充実に努めてまいります。

(単位：百万円)

4. 教員当研究経費【活動性】		R2	R3	R4	R5	R6
指標の内容【計算式】	項目					
教員一人当たりの研究経費を示す指標であり、この数値が高いほど教員一人当たりが使用した研究経費が大きいことを示します。 【研究経費÷教員数】	教員当研究経費（千円）	2,700	4,239	3,264	3,492	3,779
	教員当研究経費（千円）（同規模大学平均）	2,637	2,989	3,067	3,315	3,445
	研究経費	3,618	5,680	4,495	4,700	5,067
	教員数（人）	1,340	1,340	1,377	1,346	1,341



Point 教員当研究経費は、研究活動の活発化により修繕費等が増加したことから、R5年度より287千円増の3,779千円となりました(同規模6大学中で2番目に高い値)。引き続き研究環境の整備・充実に努め、研究経費の確保に取り組んでまいります。

- ※1 学生当教育経費の学生数は、各事業年度の5月1日現在における 学士課程、修士課程、博士課程、専門職学位課程の在籍者の数としています。
- ※2 教員当研究経費の教員数は、財務諸表附属明細書「役員及び教職員の給与の明細」における常勤の教員（任期付き教員を含む）の数としています。
- ※3 「学生当教育経費」「教員当研究費」は、それぞれ財務諸表上の教育経費、研究経費を学生数、教員数で割ったものであり、教職員の人件費や一般管理費等は含まれていません。